

インテリジェント歩道[®]

Intelligent Ground Surface Information Transmission System



用途

- ・ 地表面の価値を向上するICTプラットフォーム
- ・ 歩行者に情報を光と音でダイレクトに表示・伝達
- ・ 電線地中化用ケーブル収容樹脂製小型ボックス

特長

- ・ センシング情報をLEDとスピーカで歩行者に表示
- ・ 軽量で電波透過性に優れた樹脂製トラフを使用
- ・ リサイクルプラスチックを使用し環境に配慮

車両でのうれしさ

- ・ 安全安心・快適自由な歩車共存空間の実現
- ・ 電線地中化コストの低減
- ・ まちの資産価値向上

■ 高強度/高機能グリーントラフ

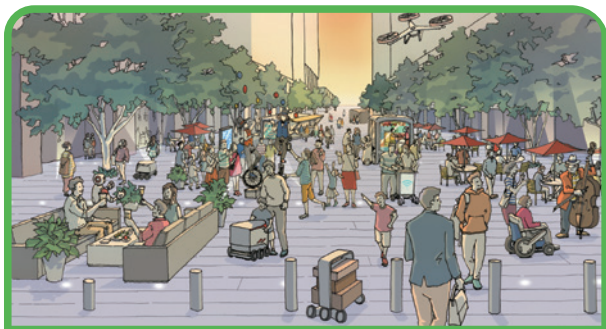


- ・ ICT機器の実装が可能なグリーントラフ[®]
- ・ 独自の樹脂設計で高強度化を実現

実現手段

魅力的な道路空間が、まちの価値を向上すると期待されている。このような空間を実現するためには、ICTや自動運転車の活用が重要となるが、ICT機器の収納場所、歩車の位置情報をタイムリーに伝達する手段、ICT機器の進化に道路インフラが対応できるかという課題がある。これらの課題を解決するソリューションが「インテリジェント歩道[®]」である。

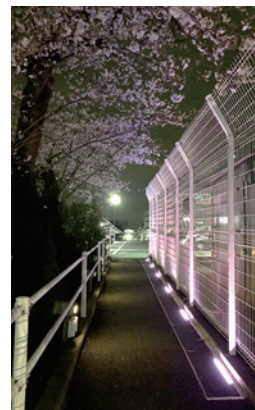
■ 魅力的な道路空間がまちの価値を向上



歩行者と車両が同等関係で寄り添い支え合う空間

インフラ側の課題

- ① センサや5G通信等のアクセスポイントの収納場所
- ② 歩・車・路間の効果的な情報伝達手段が必要
- ③ まちの変化/進化に対する柔軟性が必要
- ④ 景観向上/減災に必要な電線地中化コストの低減



平塚事業所での実証実験